

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【2024年大湾区グローバル投資促進会議多国籍企業座談会、広州で開催】](#)

[【香港、世界で最も自由な経済体にランクイン】](#)

[【第3回大湾区サービス貿易会議、香港・マカオで開催】](#)

【2024年大湾区グローバル投資促進会議多国籍企業座談会、広州で開催】



11月8日午後、2024年大湾区グローバル投資促進会議多国籍企業座談会が広州市で開催されました。同座談会において、各多国籍企業代表者による意見交換が行われ、広東省と大湾区における企業の投資経営状況と将来の発展計画に対する理解を深め、期待とアドバイスをもらいました。広東省省長の王偉中氏は会議の司会者として講演を行いました。

座談会では、シーメンスエネルギー社（ドイツ）執行役員の Karim Amin 氏及びヴァンティブ社（アメリカ）CEO の Christopher Andrew Toth 氏、フランス電力

グループ（フランス）副総裁兼中国区総裁の尚為隣氏、クラフトハイツ（アメリカ）アジア地域総裁の Frederico Freire Jardim 氏、エア・リキード（フランス）中国区理事長の黎瑞華氏、エアバス（フランス）中国総経理の柯霖氏、ルイ・ドレフュスグループ（フランス）グローバル CBO 兼アジア太平洋地域総裁の周学軍氏、東レグループ中国総代表の三木憲一郎氏、日産自動車株式会社副総裁兼東風日産総経理の関口勲氏、SK 化学（韓国）副総裁 JUNG JAEJOON 氏、マレリ自動車電子（イタリア）広州総経理の楊帆氏、BASF（ドイツ）アジア大型プロジェクト総裁の林漢平氏、エクソンモービル（アメリカ）中国区主席の譚然恪氏、シンガポール益海嘉里金龍魚グループ総裁の穆彦魁氏、IDG 資本創業理事長の熊曉鴿氏などの多国籍企業の代表者が投資発展における経験を共有しました。彼らは、企業が広東省で長年にわたり事業を展開しており、広東省経済発展の偉大な成果を目の当たりにし、引き続き広東省と大湾区の発展の見通しについて楽観視しており、更なる強固な協力関係の構築、及びウィンウィンの発展が実現することを楽しみにしていると述べています。王偉中省長は、経営者たちの発言を丁寧に聞き取り、随時双方向の交流を行い、質問、アドバイスに対して考えを示し、また、関係部門に対し、入念に内容をまとめ・整理・研究し、計画、政策措置、プロジェクト建設において積極的に経験を吸収し、よりよくフォローアップサービスを行うよう指示しました。

王偉中氏は、中国共産党広東省委員会、広東省政府を代表し、多国籍企業が長年間にわたり広東省の改革開放と現代化建設に貢献していることに感謝を示しました。王氏によると、昨年 4 月、習近平総書記が視察のため広東省に訪れ、広東省の中国式現代化建設の推進の先頭を切る使命を表明し、大湾区を「一点二地」と新しく位置づけ、外国投資者に対し「ようこそ中国へ、ようこそ広東省へ、ようこそ大湾区へ」と招待を行いました。

現在、広東省は中国共産党第 20 期中央委員会第 3 回全体会議の精神及び習総書記の広東省視察時の重要講演・指示の精神を徹底して実行し、着実に中国共産党広東省委員会の「1310」部署（中国共産党広東省第 13 期委員会第 3 回全体会議で公表した 10 点の新しい突破）を徹底し、質の高い発展を中心に、更に改革の全面的な深化を推進、高水準の対外開放を拡大し、産業と科学技術の相互促進を推進、全過程イノベーションチェーンの構築を加速させ、伝統産業の転

換やグレードアップを推進、グリーンエネルギー、低空経済、バイオ医薬などの新興産業を積極的に育成し、現地の状況に応じて新しい質の生産力を発展させ、実体経済を礎とし、製造業を柱とする基盤を固め、市場化・法治化・国際化の一流ビジネス環境の整備を加速させ、広東省における中国式現代化の実践を力強く推進しています。これにより、各国の企業が大湾区においてより良い発展を遂げるための更なる大きなチャンスがもたらされます。

王氏は、各企業家が今回の投資促進会議をきっかけに、広東省の関係部門及び工商業界との連携を強化させ、大湾区建設と広東省の質の高い発展におけるパワーを実感し、貿易投資協力関係を引き続き深化させ、より多くの協力のチャンスを模索し、より大きい発展メリットを分かち合い、世界経済の成長により多くの新しい活力を注ぐことを祈る、と述べました。

【香港、世界で最も自由な経済体にランクイン】



10月16日、フレイザー研究所は「世界の経済自由度年次報告 2024年版」（以下「2024年次報告」）を発表し、香港が165カ国中、昨年より1つ順位を上げ、世界における経済自由度1位にランクされました。2024年次報告書で評価された5つの分野のうち「国際貿易の自由」と「レギュレーション」においては、香港が世界1位となり「通貨の健全性」においても、世界3位に浮上し

ました。

香港特別行政区政府の正しい政策を反映

香港は自由な経済体であり、最新ランキングで1位に返り咲いたことは、香港は適切な規制のもとで市場に自由を与えており、正しい政策が反映されていることを示している、香港経済は過渡期を迎えており、課題はより大きい、経済を刺激する施策は現実的なものである、と香港特別行政区行政長官ジョン・リー氏は述べています。

ジョン・リー氏は、現在の経済成長の中で新たな成長点を見出すことを望んでおり、過去に香港においてコモディティ貿易は発展してこなかったが、現在、香港に非鉄金属倉庫を設置する意向を示している世界的な商品トレーダーがおり、特區政府もこれを好機と捉え、他のコモディティ貿易チームを香港に誘致し、発展させると述べています。

自由市場の強みが国際的に認められていることがランキングに反映

香港特別行政区政府のスポークスマンは、香港は長期にわたって、自由市場の優位性を十分に発揮し、自由で開放的、効率的且つ公正なビジネス環境を維持しており、今回のランキングはこの優位性が国際的に認められていることを十分に反映していると述べました。

同スポークスマンは、香港の自由市場と優れたビジネス環境は、コモン・ロー制度の実施、法治の優良さ、司法機関の独立による裁判権の行使、カネ、モノ、ヒト、データ等の生産要素の自由な流れ、シンプルな税制、低税率、便利なビジネス環境、市場の効率性と透明性、規制制度が国際的なルールに沿っているなどを含む「一国二制度」の独特な制度的優位性に恵まれており、これらの要素が、香港を理想的なビジネス都市にしている、とも述べています。

今後の見通しについて、同スポークスマンは中国からの強固な支持を受け、香港は引き続き積極的に国家発展の全体情勢に溶け込み、国家発展戦略と歩調を合わせ、自由で開放的なビジネス環境を維持・改善し、国際企業の誘致、中国本土企業の海外進出を支援する双方向の役割を果たし続けると述べました。

【第3回大湾区サービス貿易会議、香港・マカオで開催】



10月16日、17日、第3回大湾区サービス貿易会議が、香港及びマカオの会場で開催されました。今回の貿易会議は、広東省人民政府、香港特別行政区政府、マカオ特別行政区政府の指導のもと、広東省商務庁、珠海市人民政府、香港商務及経済発展局、及びマカオ投資誘致投資促進局が主催しました。

貿易会議のテーマは「サービス・アウトソーシング+大湾区の新エンジン」で、香港・マカオ会場で先行開催する「一会三地」の開催方式を引き継ぎ、「大湾区での盛大なイベント」の幕が開き、10月31日から11月1日まで珠海メイン会場での開催に向けてのウォーミングアップになります。

今回、香港・マカオ会場で開催された貿易会議は、それぞれ香港エレクトロニクス・フェア（秋）、マカオ国際貿易投資展覧会（Macau International Trade and Investment Fair、略称「MIF」）と連携し、周知の2展示会の注目コンテンツと融合し、特別プロモーションやB2B特定テーマの商談などの内容を入念に計画することで、国際展示会の広いステージを活用し、業界交流の深い利点を加え、企業のためにより多様化・広範な国境を越えた貿易市場を開拓します。

香港会場では、AI、越境Eコマース、電子製品サプライチェーンの最適化と革新などの最先端分野が焦点となっています。13社のグローバルバイヤーと大湾区の60社以上の企業・団体の代表者が一堂に会し、越境貿易やその他の内容を巡って綿密なマッチングが行われました。マカオの会場ではさらに活気があふれており、大湾区の120社以上の企業・団体の代表が積極的に参加し、国内

外のバイヤー21社が14億元（約2.11億米ドル）以上の契約リストを携えて来場しました。

統計によると、香港・マカオ会場では合計12社の外資系アウトソーシング業者が複数回の商談を行い、アウトソーシング案件の総額は14.3億元（約1.92億米ドル）に達しました。このうち、香港会場では合計60回のマッチング商談が行われ、その場で8件の取引意向書が交わされました。マカオ会場では43回のアプローチ・商談が行われ、11件の取引意向書が交わされ、同意意向書に関する総額は約6.58億元（約9400万米ドル）となっています。また、香港・マカオ会場では、テーマ別の視察ルートが設定され、交渉当事者双方のニーズに応え、お互いに理解と協力を更に深めることができました。

第3回大湾区サービス貿易会議のメイン会場活動は、10月31日から11月1日まで珠海国際会議展覽センターで開催され、「オープニング+B2B商談交易会+プロジェクト・プレゼンテーション+展覽展示+セット活動」という多様な形で行われ、100社以上のグローバルバイヤーの購買リストをすでに受領済で、情報技術（IT）及びデジタルサービス、ヘルスケア、金融サービスと投資、工業デザインと建設、越境Eコマースと貿易、物流サービス、OEMとODMサービス、アウトソーシング製造及び調達、文化、エンターテインメントなどの9つの主要産業が含まれ、総契約額は約15.6億米ドル（110億元以上に相当）、最大の単一プロジェクト予算は5,000万米ドルという高額に達しています。

【参考資料】

- ・ [2024 年大湾区グローバル投資促進会議多国籍企業座談会、広州で開催](#)
- ・ [香港、世界で最も自由な経済体にランクイン](#)
- ・ [第3回大湾区サービス貿易会議、香港・マカオで開催](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====